

<p>請願番号</p>	<p>請願第24号</p>	<p>受理年月日</p>	<p>平成24年11月28日</p>
<p>請願の件名</p>	<p>高等学校の公私間格差解消のため、私学助成の増額を求める請願</p> <p>請願項目と趣旨</p> <p>1 学費と教育条件の公私格差を解消するために、私学助成をせめて公立並みに増額してください。</p> <p>《請願の趣旨》</p> <p>公立高校授業料の無償化に伴い、私立高校にも平成22年度より「高等学校就学支援金」として月額9,900円が給付されるようになりました。これによって、子どもを私学に通わせ易くなったかという、残念ながら「県立志向」の傾向はますます強くなっています。</p> <p>理由は、私立高校の学校納付金が、まだまだ高額であるということです。</p> <p>例えば、県立高校の入学金が5,650円であるのに対し、私立高校は約10～14万円です。さらに私立高校の場合、入学時に払う「特別施設費」が2～7万円にも上ります。制服・カバン等にかかる費用も高く、公立で6～7万円台、私立は7～9万円台です。父母が入学時に一度に支払わなければならない金額は、ゆうに30万円を超えるのです。（公立は約14万円）</p> <p>さらに、スクールバスや寮費などの必要なケースも多く、経済的理由で進路の選択肢から外されてしまうのです。</p> <p>子どもたちがお金の心配なく学べるように、私学助成をせめて県立高校並みに近づけていくための、保護者の負担軽減につながる措置を講じてください。</p>		
<p>紹介議員</p>	<p>西村 賢 鳥飼 謙二 凶師 博規 前屋敷恵美</p>		
<p>摘要</p>			